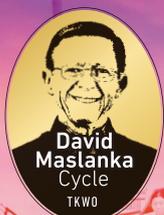


# 2つの大作が描く、 雄大な自然・生命への 讃歌

マスランカ・チクルス Vol.4



David Maslanka  
Cycle  
TKWO



指揮  
大井剛史  
(常任指揮者)

交響曲第3番 / D.マスランカ

Symphony No.3 / David Maslanka

吹奏楽のための風景詩

「陽が昇るとき」 / 高昌帥

Scenery Poetry-Idyll for Wind Orchestra "As the Sun Rises" / Koh Chang-Su

7.5 (日) 2026  
開演: 14:00 (開場: 13:00)

東京芸術劇場コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 TEL:03-5391-2111

TICKET (全席指定・税込)

S席: ¥6,500 A席: ¥5,000 B席: ¥4,000 C席: ¥3,000

各種割引 (TKWOチケットサービスのみでの取り扱い)

U25割引 ¥2,500\*

\*25歳以下の方のための割引サービスです。  
【A席orB席】公演当日は年齢を証明できるものをご持参ください。

東京佼成ウインドオーケストラ チケットサービス

WEBチケットサービス

いつでも予約可能!

※定期メンテナンス  
毎日3:00-4:00

座席指定

クレジット決済

電子チケット

コンビニでの支払・発券



TEL

03-5341-1164

9:30-16:30  
土・日・祝を除く

〇団体・車いす・身体障害者手帳をお持ちの方には割引がございます。  
※割引の併用はできません。

会員先行: 2026/3/17(火)

一般発売: 2026/3/24(火)

プレイガイド

●チケットぴあ ●ローソンチケット

●e+(イープラス)

●東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296 (10:00-19:00 休館日を除く)

※当日券は500円増しとなります。(U25除く) ※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※出演者・曲目・時間等に変更になる場合がございます。 ※お申し込み後の変更・キャンセルはお受けできません。 ※公演中止の場合を除き、払い戻しはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

東京佼成ウインドオーケストラ事務局 TEL 03-5341-1155

<https://www.tkwo.jp/> X f i g y t

# 2つの大作が描く、雄大な自然・生命への讃歌

中橋愛生 (TKWO楽芸員)

2024年から開始されたマスランカ・チクルスも、全部で7曲の演奏が予定されているうち今回は4回目。この大いなる登山のちょうど半分に位置付けられる。『第2番』、『第9番』、『第5番』と、「最初・最後・真ん中」ときて、今回は『第3番』。チクルスを続けてお聴きいただいている方々もTKWO自身も、そしてチクルスで一貫して指揮を担っている大井にとって、マスランカへの理解が深まってきたところに、改めてマスランカの交響曲創作過程の「登りはじめ」に近い曲に触れることで、また全容が捉えやすくなるのではなかろうか。

マスランカ『交響曲第3番』は、マスランカが人生の転機を迎えた頃に生まれた全5楽章・演奏時間約45分という大作だ。ロッキー山脈の雄大な自然、そこに住む動物や精霊の声、そして生命への賛美が奏でられる。ソナタ形式の第1楽章を持つという古典的なスタイルを踏襲しつつ内省的な音楽がつづられていくのは、いかにもマスランカの世界。第2楽章では室内楽のような音楽も展開され、ここではTKWOの名手たちの表現にも注目だ。一転して速く激しい第3楽章は第三主題まで持つソナタ形式のスケルツォ的性格で聴く者を惹きつけて離さない。続く2つの第4・第5楽章は、ともに

「ラメント」。しかし、哀しみは自然の美しさを描き、最後は喜びの歌となって曲を閉じる。

これと対置される高昌帥『陽が昇るとき』も、演奏時間約35分の大作。全4楽章のこの曲は交響詩とされているが、一種の交響曲と言える規模と構成を持っている。「衝動」「情緒」「祈り」「陽光」とされた4つの楽章名からも分かる通り、人間の内面を自然と重ねて強靱に描いている傑作だ。これら各楽章はそれぞれ別の機会に、別の団体のために作られたものだが、当初から最終的に1つにまとめられることが想定されていたため、同じ統一原理に基づいている。同時に、それぞれが独立した楽曲でもあったために音楽の変化に富んで聴きどころが多いのも特徴的だ。ヨーロッパで学んだ高らしく、どこかマーラーなど後期ロマン派の交響曲も思わせる。この交響詩、部分的に演奏されることはしばしばあるが、こうして完全な形で聴くことができる機会はほとんどなく、稀有な体験となるだろう。

登山に例えるならば、中間点は山の頂上。これから帰路に向かうこの場所から眺める陽の輝きが、どのような響きを私たちに聴かせてくれるのか、楽しみだ。

## Profile

### 大井剛史 (常任指揮者)

Ooi Takeshi,  
Principal Conductor



東京佼成ウインドオーケストラ常任指揮者。東京藝術大学指揮科卒業、同大学院指揮専攻修了。2008年アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで第2位入賞。ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団)常任指揮者(2009~2016)、山形交響楽団指揮者(2009~2013)、同正

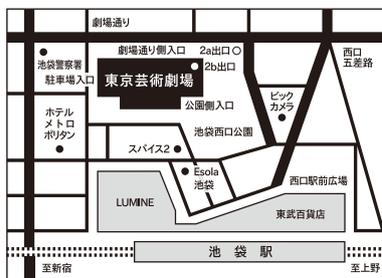
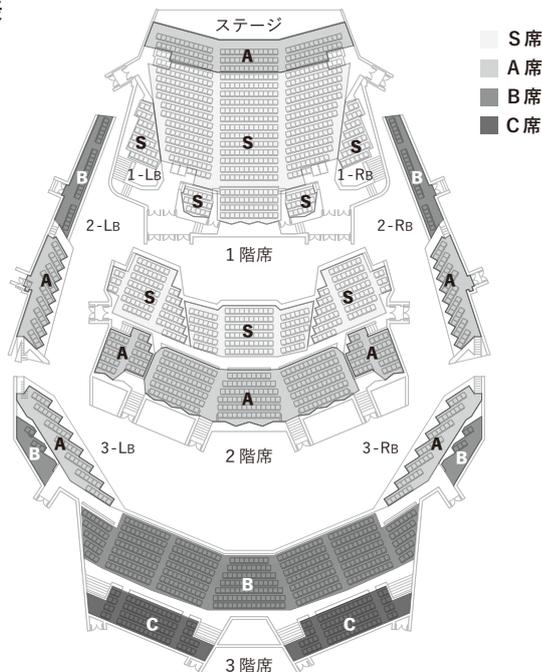
指揮者(2013~2017)、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者(2014~2024)を歴任。このほか全国の主要オーケストラを指揮している。レパートリーは極めて広く、トーク付きのコンサートや子供のためのコンサートなどを通じてより多くの方々に音楽に親しんでいただくことにも情熱を注いでいる。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師(吹奏楽)。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

### 東京佼成ウインドオーケストラ Tokyo Kosei Wind Orchestra



1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。2024年4月から大井剛史が第6代常任指揮者、中橋愛生が楽芸員に就任。桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、首席客演指揮者に飯森範親を擁している。吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し高い音楽芸術性を創出し、多くの人々が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

### ■ 座席表



### 東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線

池袋駅西口より徒歩2分。

駅地下通路2b出口と直結しています。

※劇場には、託児サービスがございます。

詳細はTEL 0120-165-115(9:00~17:00/土・日・祝を除く)へお問い合わせください。

## TKWO 吹奏楽カフェ

第11回

2026年 6月10日 [水] 19:15 開店

管楽器専門店ダク「スペースD.O」(最寄駅「新大久保」駅)

料金 2,500円(税込)

■ 共催: 管楽器専門店ダク

詳細はこちら

